

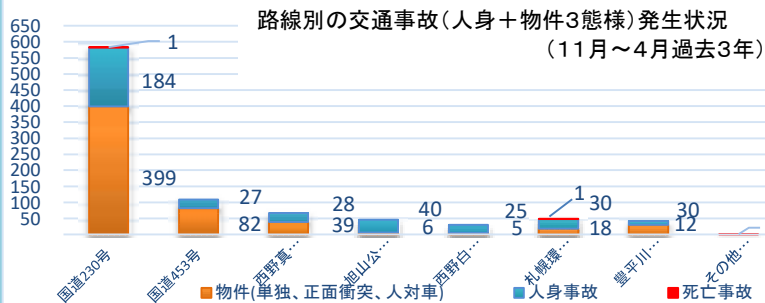
速度取締指針 (令和6年11月から令和7年4月)

南警察署の速度取締りの重点

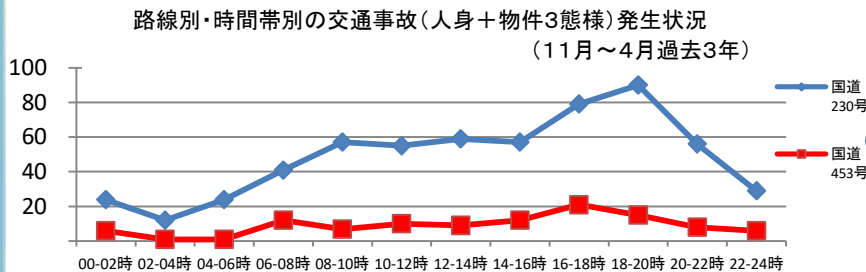
路線	時間帯	地域	規制速度
国道230号	10時～16時	市街地 郊外	指定50km/h 法定速度(60km/h)
国道453号	10時～16時	市街地 郊外	指定50km/h 法定速度(60km/h)

重点以外の路線や時間帯であっても、必要に応じて取締りを実施します。

南警察署管内の交通事故実態等



- 主要路線の人身事故及び物件事故(重大事故の可能性の高い「車両単独」、「正面衝突」及び「歩行者対車両」の3態様)の発生状況を見ると、市街地の国道230号が最も多く次いで国道453号、西野真駒内線、旭山公園米里線が続く。
- 死亡事故は、国道で1件、道道で1件、その他の市道で1件発生している。



- 時間帯別の事故発生状況
国道230号は、
昼間(8～16時の間)
が増加傾向である。
薄暮から夜間(16～20時の間)
の増加が著しい。
国道453号は、
早朝(6～8時)
薄暮(16～18時)
の発生が多い。

道路交通環境等

- 国道230号は、札幌市と道南を結ぶ主要な国道であり、市街地から郊外まで片側2車線で交通量が多い。
降雪期となり、市街地交差点等での事故が増加傾向となる。郊外部では路面凍結によるスリップが原因となる正面衝突による重大事故の発生が懸念され、被害軽減のための速度抑制を図る必要がある。
- 国道453号は、札幌市と胆振地方を結ぶ国道であり、市街地は交通量が多い。
降雪期となり、市街地交差点等での事故が増加傾向となる。郊外部での事故の発生は少ないが信号は少なくカーブが多いことから路面凍結時におけるスリップによる路外逸脱等の重大事故の発生が懸念され、被害軽減のため速度抑制を図る必要がある。

その他の交通指導取締りの要点

市街地における交差点違反(信号無視、横断歩行者妨害、一時不停止等)、シートベルト違反、駐車違反等の取締りを強化

令和6年5月から令和6年10月までの交通事故発生状況

重点路線	人身事故件数	負傷者数	物件事故件数
国道230号	65件(前年比+11件)	87名(前年比+21名)	322件(前年比-53件)
国道453号	11件(前年比±0件)	12名(前年比-1名)	84件(前年比+22件)